

令和7年度 地域連携推進会議 議事録

- 日 時：令和7年11月18日（火）14：00～15：00
- 場 所：グループホーム 絆
- 出席者：地域連携推進員5名中5名出席
 - 袖ヶ浦学園ご利用者 A様
 - 袖ヶ浦学園ご利用者保護者 S様
 - 地域の関係者 上泉地区民生委員 S様
 - 福祉に知見のある人 地域生活支援センターもえ M様
 - 市町村担当者等 袖ヶ浦市障がい者支援課 I様社会福祉法人いずみ会職員3名出席
 - グループホーム 絆 管理者 高野
 - 袖ヶ浦学園 施設長 平島
 - 袖ヶ浦学園 事務長 吉田

1. 開会の挨拶

高野管理者から、開会の挨拶があった。

2. 出席者の紹介

吉田事務長から、出席者全員の紹介をおこなった。

3. 制度の概要説明

高野管理者から、開催目的について説明した。

- ①施設の支援内容や体制を地域と共有し、開かれた施設運営を行うこと。
- ②地域資源や関係機関との連携を強化し、支援の質を高めること。
- ③地域移行や地域生活支援を見据えた、継続的な体制づくりを進めること。

4. 施設運営・支援の現状報告

まず、吉田事務長から、袖ヶ浦学園の運営状況をパンフレットに沿い、職員の配置状況、利用者様の年齢統計、障害支援区分統計、施設の見取図などを説明した。

次に、高野管理者から、グループホーム 絆のサービス内容や支援の現状を報告した。特に、支援方法として、3つの柱と具体的な取り組みを報告した。

①利用者一人ひとりの自立に向けた支援サービスの提供

- ・日常生活動作（食事・入浴・掃除・買い物など）の練習を通じて、で

きることを少しずつ増やす支援をおこないます。

- ・地域資源を活用した外出や公共交通機関の利用を取り入れ、社会参加の機会を広げています。
- ・個別支援計画に基づき、本人の希望を尊重した余暇活動や生活リズムの安定を支えています。

②職員の専門性の向上と組織的な活動の支援

- ・外部研修など、職員の知識・技術の向上を図っています。
- ・自閉症支援や意思決定支援に関する研修を積極的に受講しています。
- ・チームとしての連携を強化し、支援方針を統一することで、安定した支援体制を維持しています。

③保護者・地域社会との連携強化

- ・定期的な「個別支援計画会議」を通じて、ご家族と情報を共有し、支援の方向性を一緒に考えています。
- ・地域の一斉清掃や地域のまつりへの参加を通じて、地域住民との触れ合う機会としています。
- ・医療機関や相談事業所と連携し、利用者様の健康管理や生活支援を包括的に進めています。

5. 施設見学

パンフレットの見取図を見ながら、施設見学をおこなった。

6. 意見交換・助言

感想

- ・明るくてきれいな建物で、閉鎖的な印象はない。誕生日会などおこなったらいいと思います。
⇒誕生日会は、その都度おこなっています。
- ・とても明るく開放感があり、居心地がよさそうだなと思いました。休日も外出に連れて行っていただき、ストレス解消ができたり、利用者がやりたいことをしていただいて、いいなと思いました。

質問・意見

- ・世話人の確保などはどのようにしていますか。
⇒世話人は3名おりますが、高齢の方ばかりなので、1週間単位で3日、3日、1日という勤務で対応し、対応できない時は、湯せんで簡単に調理ができるものを利用しています。
世話人が退職する際に、次の人を紹介したり、ウェブサイトで募集

をしたり、自販機にポスターを貼ったりしています。

- 職員の専門性について、高齢の世話人にどのように研修をしていますか。私たちの施設でも、月に1度世話人の研修会をやっていますが、
⇒強度行動障害養成研修等を受けた職員を中心に、OJTで研修をおこなっています。また、強度行動障害の実践発表会に足を運ぶなど、職員も自己啓発に努めています。
- 地域交流で、公民館などとはどのようにかかわっていますか。
⇒現在は、公民館まつりや地域のおまつりに参加するくらいなので、
今後は、自治会ともう少しかかわっていただけたいと思います。
⇒地域の方々に障害のことを理解していただくのは難しいと思いますが、ここは公民館が近いなど、立地がよいと思うので、利用者のことを理解していただくために、職員さんが先に顔を覚えてもらい、利用者につなげていくのがいいかなと思いました。

7. 閉会挨拶

高野管理者が閉会を告げた。